

令和3年9月17日

住宅・住戸の外皮性能計算プログラムにおける更新の内容

現行バージョンからの変更点は、次の通りです。

●Ver3.0.4→Ver3.0.5（令和3年9月17日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

1. 住宅の平均熱貫流率算出に用いる建材等の熱物性値において、量の熱伝導率の不備を修正しました。

●Ver3.0.3→Ver3.0.4（令和3年8月26日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

2. 計算結果画面の外皮の平均熱貫流率 (U_A 値) の詳細画面において、熱貫流率計算結果の表を「壁等・ドア・窓」、「熱橋・基礎」の別に分けました。また、冷房期・暖房期の平均日射熱取得率 (η_{AC} 値・ η_{AH} 値) の詳細画面において、日射熱取得計算 (壁等・ドア) の表から熱橋を分け、日射熱取得計算 (熱橋) の表を追加しました。

●Ver3.0.2→Ver3.0.3（令和3年6月9日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

3. 計算結果画面の文言及び表示項目を変更しました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

4. 入力に応じた選択肢の表示切り替えの不備を修正しました。

5. レイアウト及び文言を変更しました。

●Ver3.0.1→Ver3.0.2（令和3年5月18日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

6. ガラスの仕様が「二層複層 二層複層ガラス」の場合に計算できない不備を修正しました。
7. 貫流熱損失の合計に基礎および熱橋の貫流熱損失が含まれていない不備を修正しました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

8. 「①計算」シートにおいて、部位の種類に「界壁」を選択した場合に、工法の種類および断熱箇所の選択肢が表示されない不備を修正しました。
9. 「②壁等・RC造」シートにおいて、日よけの効果係数が正しく XML に出力されていない不備を修正しました。
10. レイアウト及び文言を変更しました。

●Ver3.0.0→Ver3.0.1（令和3年4月21日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

11. 日射熱取得率の入力にエラーがある XML がアップロードされた場合、エラーメッセージを表示するように修正しました。
12. 基礎等の貫流熱損失が正しく表示されない不備を修正しました。
13. レイアウト及び文言を変更しました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

14. 固体層における層の素材名のリストからケイ酸カルシウム板の項目を削除しました。
15. 「③壁等・鉄骨造」において、日よけの効果係数が正しく XML に出力されていない不備を修正しました。
16. 「①計算」において、部位の種類と工法の種類に応じた断熱箇所を選択肢の不備を修正しました。

●Ver2.8.1→Ver3.0.0（令和3年4月1日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

17. 部位ごとの熱貫流率及び日射熱取得率の算出方法を変更しました。
18. レイアウト及び文言を変更しました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

19. 「熱橋」、「欄間付きドア」の計算条件を入力するシートを追加しました。
20. 部位ごとの入力項目を整理しました。
21. レイアウト及び文言を変更しました。